

1. 授業の概要(ねらい)

人の発達はいわゆる「ヒト」としての遺伝子の仕組みにより、定まった方向に自然に成長し成熟していくが、それはある程度の環境が整っていないければ発現しない。そしてその環境も、親からの愛情やしつけ、きょうだい関係などのミクロな面から、教育制度や国の文化などマクロな面まで様々であり、それらが、個人の発達に豊かな個人差を生じさせている。以上のことから本講義では、人の成長に与える様々な要因に焦点を当てながら、人の誕生から死までの発達を説明していく。扱う領域は以下の通りである。

- ① 認知機能の発達及び感情・社会性の発達
- ② 自己と他者の関係の在り方と心理的発達
- ③ 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達
- ④ 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方
- ⑤ 高齢者の心理

なおこの授業では、動画を見たり関連する新聞記事なども配布して、生活に密着した理解しやすい授業をめざす。

授業は、1回で教科書1章分を扱う。授業前半は教科書の内容の説明、後半は配布資料の説明である。小テストと課題は、交互に2回に1回程度、行う予定である。

2. 授業の到達目標

- ・発達心理学についての基礎的な知識の獲得をめざす。

3. 成績評価の方法および基準

期末テスト60点、小テスト40点で評価する。期末試験は、選択肢問題と論述問題である。

4. 教科書・参考文献

教科書

概ね以下の教科書により授業を進めるが、随時他の文献を紹介する。

坂上裕子 山口智子 林 創 中間玲子【著】 問いからはじめる発達心理学 一生涯にわたる育ちの科学 有斐閣

参考文献

開 一夫 齋藤 滋子【編】 ベーシック発達心理学 東京大学出版会

本郷一夫【編】 発達心理学(公認心理師の基礎と実践12) 遠見書房

5. 準備学習の内容

教科書や配布プリントを見直しておくこと。特に授業で行う小テストや課題は、期末テストの準備にもなるので、しっかり取り組むこと。

6. その他履修上の注意事項

授業中の小テストはLMSで行う予定である。スマホまたはWi-Fi対応のノートPCなどを持参すること。

また課題も、LMSでの提出となる。

※ 2018年度以降の入学学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。

2017年度以前の入学学生は、心理学科のホームページを参照してください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 【第1回】 | 誕生から死までの発達／発達段階と発達課題 |
| 【第2回】 | 発達の多次元性・多方向性／進化／遺伝と環境 |
| 【第3回】 | 胎児期・新生児期／五感の発達 |
| 【第4回】 | ピアジェの発達段階／社会性の萌芽 |
| 【第5回】 | アタッチメントの発達と個人差／発達の可塑性 |
| 【第6回】 | 表象と象徴／言語の発達／読み書きへの関心／共同注意と遊びの発達 |
| 【第7回】 | 主体としての自己／感情と自己制御の発達 |
| 【第8回】 | 心の理論／道徳／仲間関係 |
| 【第9回】 | 記憶の発達／動機づけ／メタ認知 |
| 【第10回】 | 自己理解／時間的展望／青年期の友人関係／恋愛 |
| 【第11回】 | アイデンティティの発達／キャリア選択／結婚 |
| 【第12回】 | メンターの役割／親としての発達／介護 |
| 【第13回】 | 認知機能の加齢変化／パーソナリティの発達／高齢者の死生観 |
| 【第14回】 | 非定型発達／児童虐待の影響／つまづきの背景にある時代と文化 |
| 【第15回】 | まとめ・テスト |